



# 同窓会だより

編集・発行／岐阜県立本巣松陽高等学校同窓会事務局

〒501-0407 岐阜県本巣市仏生寺859-1 TEL(058)324-1201 FAX(058)323-0651  
 ホームページ <https://www.motosu-dousoukai.org/> E-Mail [motosu1920@gmail.com](mailto:motosu1920@gmail.com)  
 印刷／日本印刷(株)

## 第52号

会員総数 32,206人

旧制・本巣中学校	2,571人
旧制・本巣高等女学校	2,592人
併設中学校	682人
本巣高等学校	21,299人
本巣松陽高等学校	5,062人

(令和6年3月1日現在)



同窓会長 川瀬 善忠（昭和40年卒）



同窓会長 川瀬 善忠（昭和40年卒）

## 未来へ歩む同窓会活動

同窓会の皆様には、平素から母校の教育の振興のため、格別の御支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

今年度につきましては、新型コロナウイルスの分類が2類から5類になったことで、学校活動において、コロナ禍以前のような活動の多くを実施することができ、大変うれしい年となりました。そんな中でも特に印象深い出来事は、4月の関東支部の総会、また8月のグラントホール岐山での同窓会総会が実施できましたこと

## 令和5年度を振り返り

名誉会長（校長）池田 哲也

○同窓会本部役員の交代と拡充  
 永年尽力いただいた遠山信義副会長と青木松男監事、棚橋敏明常任理事が退任せられ、新たに河野秀明さん、宮本記三子さんが副会長、柏木典子さん、大草由美さんが書記、西尾侑一さんが会計に加わり、古野利仁さん、堀口浩さんが新規監事、近藤繁夫さんが常任理事として就任しました。

震が発生しました。多くの犠牲者が出来ました。謹んで哀悼の意を表します。罹災者の皆さんのが今でも厳しい生活を強いられていることに思いをはせるとき、心が痛みます。

学校創立百周年事業の完結後、同窓会は未来に向かう歩みをスタートいたしました。その内容を一部紹介いたします。

○同窓会本部役員の交代と拡充  
 永年尽力いただいた遠山信義副会長と青木松男監事、棚橋敏明常任理事が退任せられ、新たに河野秀明さん、宮本記三子さんが副会長、柏木典子さん、大草由美さんが書記、西尾侑一さんが会計に加わり、古野利仁さん、堀口浩さんが新規監事、近藤繁夫さんが常任理事として就任しました。

同窓会の皆様には、平素から母校の教育の振興のため、格別の御支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

今年度につきましては、新型コロナウイルスの分類が2類から5類になったことで、学校活動において、コロナ禍以前のような活動の多くを実施することができ、大変うれしい年となりました。そんな中でも特に印象深い出来事は、4月の関東支部の総会、また8月のグラントホール岐山での同窓会総会が実施できましたこと

○銀杏祭同窓会ブースの工夫  
 同窓会として、3年ぶりに参加をし、関東語を披露し、同窓会に勢いを貢いました。

今後は、当番学年だけにとどまらず、すべての同窓生が気軽に参加し、各界で活躍する同窓生の、楽しい集いと交流の場となるようなボリュームのある総会にしていきたい思います。

○銀杏祭同窓会ブースの工夫  
 同窓会として、3年ぶりに参加をし、関東語を披露し、同窓会に勢いを貢いました。

今後は、当番学年だけにとどまらず、すべての同窓生が気軽に参加し、各界で活躍する同窓生の、楽しい集いと交流の場となるよう努力していきます。

同窓会の皆様には、平素から母校の教育の振興のため、格別の御支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

今年度につきましては、新型コロナウイルスの分類が2類から5類になったことで、学校活動において、コロナ禍以前のような活動の多くを実施することができ、大変うれしい年となりました。そんな中でも特に印象深い出来事は、4月の関東支部の総会、また8月のグラントホール岐山での同窓会総会が実施できましたこと

す。どちらの会もコロナ禍で中止されてしましました。多くの同窓生の方とお話をいたしました。多くの同窓生の方と一緒に、同窓生皆様の母校愛、また百年を超える本校の歴史の重みを感じ、学校経営を任されている者として一層身が引き締まる時間となりました。また、関東支部の代表を務めておられる吉田様からの提案により、銀杏祭（文化祭）で関東支部同窓会のブースを設けていただきました。ブースを訪れる生徒一人ひとりに関東の魅力、東京の魅力を話していただき、生徒も大変刺激を受け、勉学に励む気持ちが一層高まったものを感じました。対面で多くの同窓生の皆様とお会いしました。

尊いお心を、新しい環境の中で活躍し、未来に向かう現役生徒の皆さんに渡し、生徒主体の企画に使ってもらうことにいたしました。

○生徒企画への支援  
 第14代同窓会会長として、尽力されました。若原忠義さまが昨年逝去され、その後ご遺族から同窓会へ多額のご懇意を頂きました。

本巣松陽高校の歴史を振り返り、未来へはばたく現役の皆さんへの最新の情報提供の場となるよう努めています。

○生徒企画への支援  
 第14代同窓会会長として、尽力されました。若原忠義さまが昨年逝去され、その後ご遺族から同窓会へ多額のご懇意を頂きました。

本巣松陽高校の歴史を振り返り、未来へはばたく現役の皆さんへの最新の情報提供の場となるよう努めています。

開会行事でのPRや、同窓会ブースでの手品の披露など在校生と親しく交流をしました。在校生にとっても大人気のブースとなり、関東支部の皆さん企画力に頭が下がりました。

開会行事でのPRや、同窓会ブースでの手品の披露など在校生と親しく交流をしました。在校生にとっても大人気のブースとなり、関東支部の皆さん企画力に頭が下がりました。

● 本 部 ●



### 令和 5 年度 本部総会・懇親会の報告

当番学年代表 福田 浩史 (平成 5 年卒)

令和 5 年度本部  
総会 懇親会が 8 月  
11 日 (金) ホテルグ  
ランヴェール岐山に  
て、コロナ後、令和  
元年以来の開催と

なりました。卒業後 30 年目にあたる平成 5 年卒が中心となり、卒業後 20 年目、10 年目の方々へも呼びかけ、本部役員、恩師の方々含むで、およそ 150 名の方にご参加いただきました。盛大に行うことができました。

総会では、川瀬善忠会長、池田哲也名誉会長に挨拶をいただき、次に同窓会にご尽力いただいた遠山信義前副会長に感謝状の贈呈が行われ、令和 4 年度事業報告、決算報告、令和 5 年度事業計画、予算案について各担当者から報告が行われました。

総会終了後、落語会が開催されました。本校平成 7 年卒業生であり、二代目立川小談志師匠としてご活躍の寺田政春氏をお招きし、約 30 分の落語を演じられました。皆さん師匠のお話に引き込まれ、あつという間の楽しい時間でした。

続いて懇親会が開かれました。平成 5 年卒が担当となり、篠田仁志さん司会のもと、諸先輩方のご挨拶を経て、恩師の服部長務先生の乾杯のご発声により、歓談へと移りました。まずは、お忙しい中ご参加いただいた 8 人の恩師（白井達哉先生、木村稔先生、長屋由喜子先生、杉山昭彦先生、村瀬美穂先生、高橋清生先生、服部長務先生、高山友章先生）のご紹介と、先生方の当時の思い出、近況報告を伺い、在学時と変わらぬ先生方の威厳とバイタリティを感じることができ、非常に懐かしくも嬉しく感じました。ご挨拶の中では、文武両道、ス

ポート強豪校としての復建を目指して、尽力されたいという心強いお言葉もあり、今後の後輩たちの活躍を楽しみに応援していただきたいと思います。

その後は、それぞれ 30 年ぶりの再会を懐かしみ、楽しみ、当時の苦楽を共にした話に花を咲かせることで、一気に高校時代の光景にタイムスリップした感じでした。今年度は、本会の準備期間がほとんどなく、懇親会中の企画も充実したもののが叶いませんでしたが、会の途中では当時のクラスごとにステージに登壇し、クラス参加者の紹介と写真撮影をするだけで会場全体で大いに盛り上がりいました。その後、野球部主力メンバーだった古田大輔さん、塚田秀俊さんを中心にしてステージに集い、先生方も交えて肩組の中、本巣高校、本巣松陽高校の校歌を全員で大合唱しました。その後の歓談を経て、小島隆之さんによる閉会の挨拶、次年度幹事となる細川大樹さん、河村一郎さんへバトンを渡し、懇親会は閉会となりました。

本会後、同ホテル内の別会場にて、平成 5 年卒の学年懇親会となり、50 名を超える参加者が集い、それぞれの仲間との時間を過ごしました。最後は 6 次会でお開きとなり、同級生たちの活力に感心しました。後日、ご参加いただいた恩師の先生方への御礼のハガキの送付、ご参加いただいた同級生たちへ、当日の写真データの配信を行い、幹事として全ての役割を無事に終えることができました。事前準備から当日の運営までご協力いただいた諸先輩、担当事務局の先生方には改めて感謝申し上げます。そして、何よりも 13 名の同級生幹事の皆さん、このチームでなければ、今回の盛況は成し得ませんでした。今回、初回の幹事会は 6 月上旬の開催で、かつ私が関東在住ということもあり、オンライン形式での開催となりました。実質 2 ヶ月しかない状況からのスタートで、やらなくてはいけないことを整理する度に途方にくれましたが、皆さんからのア

イデア出しと、迅速な実行により、SNS を活用した案内、出欠確認などの新たな試みから、450 人への案内に対し、半数から出欠連絡を受け、同級生約 100 名の出席者の獲得に繋げることに成功しました。案内状送付当初は、ほとんどリアクションが無く、幹事メンバーにも緊張感が走りましたが、同級生間の繋がりから、徐々に連絡数も増え、何とか形を作るくらいの返信を頂きました。同級生の皆さんも、突然の連絡にも関わらず、ご協力いただきありがとうございました。



参加者全員による記念写真



次年度当番学年代表 細川 大樹 (平成 6 年卒)

卒業してから 30 年

当番学年の役  
目がこんなに早く  
訪ねようとは、私に  
とってこの 30 年は長  
かったようで、あつと  
いう間に過ぎたよ

うな気がいたします。

高校生活 3 年間の思い出といえば、先生方より沢山の愛情あふれるご指導を受けたこと、ラグビー部の仲間で頭の弱い事ばかりして叱られたながらも楽しんでいたこと、また廃線になった名鉄揖斐線での通学、田んぼ道を自転車で通学、松の芽つみ？って、今では考えられない本当にかけがえのない思い出ばかりです。

今回同窓会の当番学年の理事としてかかわることになりました。どうして理事かといふと、当時内申点を上げる代わりに当番理事をしなさいというカラクリがありました。皆様申し訳ございません。なので、卒業をしてから今まで 2 回程同窓会を企画させていただきました。今回も全身全霊をかけて仲間と協力して楽しい会、幸せを感じて頂けるような会にしたいと思っております。

今年の夏には今まで参加できず会えなかつた人にも是非参加してもらい高校生活へとタイムスリップし有意義な一日と一緒に過ごすことができれば幸いです。このような機会によって、高校時代の友人との輪ができ、日頃のストレス解消や気分転換、今までと違った人生のきっかけにもなると思います。当日は多くの方に参加してもらえた嬉しいです。どうか宜しくお願い申し上げます。

**令和 6 年度 本部総会・懇親会**

日 時 令和 6 年 8 月 10 日 (土) 午前 11 時 ~

場 所 ホテルグランヴェール岐山

\*当番学年は卒業 30 年目 (20 年目、10 年目)

(平成 6 年卒、平成 16 年卒、平成 26 年卒の方々です。)

## ● 関東支部 ●

### 令和5年度総会・懇親会の開催

支部長 吉田 彰（昭和41年卒）

令和5年度関東支部総会・懇親会

を令和5年4月16日、四谷の主婦会



館にて実施し、本部から校長である高木事務局員の出席を賜り、支部会員は40数名の参加がありました。

池田名誉会長、川瀬会長、菊池事務局長、高木事務局員の出席を賜り、支部会員は40数名の参加がありました。

池田名誉会長からは、最近の本巣松陽高校の現状、川瀬会長からは創立百周年記念行事のお話がありました。その後、イベントとして、ウクライナ支援のミニ・コンサートを開催し、ウクライナ出身の女性歌手、カトリーナさんの澄んだ歌声に参加者一同、魅了されました。



(3) 令和6年3月1日 懇親会では高校時代の思い出や、故郷の話して大いに盛り上がり。最後は全員で校歌を歌い、散会となりました。また、若い会員が少なく、東京への上京者を増やそうと、9月6日の本巣松陽高校の文化祭（銀杏祭）に参加し、東京の魅力を伝えるための展示や卒業生の東京での活躍を紹介する文集も配布しました。

現在は令和6年度の総会・懇親会の準備を進めております。同級生をお誘いの上、ご出席をお願いします。

### 令和6年度関東支部総会・懇親会

日時 令和6年4月14日(日)  
午前11時30分

場所 主婦会館プラザエフ七階  
(JR四谷駅から徒歩二分)

会費 8,000円(学生は無料)

## ● 名古屋支部 ●

支部長 大西 隆信（昭和41年卒）



公園の木立に浅緑の新芽が吹きだし、日ごとに春めいてまいりました。

さて、名古屋支部においては、コロナの影響から支部総会を中止してしまいましたので開催について検討していく必要がありますが、あります。そこで、幹事会を推進していく幹事の高齢化が進み、実は私を含めて2名が昨年夏に脳疾患で緊急入院するなど、運営に支障が生じております。したがいまして本年度の総会につきましては準備が遅れていますことから、まことに申し訳ございませんが見送りさせていただきます。ただし来年度につきましては幹事の若返り等を図りながら、ぜひとも開催するという方向で考えております。



若原 忠義氏の同窓会略歴  
揖斐郡大野町出身  
創立 80周年 財務委員長  
平成13年8月から平成18年8月 本巣高等学校同窓会と本巣松陽高等学校同窓会 第13代会長  
平成18年8月から平成27年8月 本巣松陽高等学校同窓会の顧問

## 若原忠義氏からのご寄付 生徒会に贈呈

同窓会事務局 菊池 徳隆（昭和60年卒）

令和5年2月にご逝去された若原忠義元同窓会長のご遺族から、同窓会に100万円の寄付をいただいた。同窓会ではこの寄付金を生徒会に贈呈し、生徒の活動に役立ててもらうことにした。

令和5年2月、若原元同窓会長の許報を受けて、川瀬善忠会長、池田哲也名誉会長、西尾侑一事務局員が故人宅に弔問した折、故人の母校へ思いをくみ取つたご遺族から同窓会に寄付をいたしました。寄付金は、生徒会に贈呈する案で、同窓会常任理事会で承認された。令和5年4月寄付金贈呈式が開かれ、川瀬会長から須永優前期生徒会長に目録が手渡された。同窓会長は「生徒会企画型予算として、みんながびっくりするような斬新なアイデアを楽しみにしていい」と要望を伝え、生徒会長は「プレッシャーはあるけど、責任を持って取り組みたい」と応えた。具体的な案はまとまってないが、銀杏祭（文化祭）や卒業式での企画に使用することで話し合いを進めている。

昨年9月に財団の異代表理事、池田校長先生と私の3名で神戸へ墓参に上がりました。お墓は、甲南大学北の高台にあり、加藤さんご自身の設計で、墓碑には信条とされていた「仁愛」と刻まれ、奥様とご一緒に眠られています。なお、「仁愛」の書は奨学生第一号として大変お世話になりました。

昨年9月に財団の異代表理事、池田校長先生と私の3名で神戸へ墓参に上がりました。お墓は、甲南大学北の高台にあり、加藤さんご自身の設計で、墓碑には信条とされていた「仁愛」と刻まれ、奥様とご一緒に眠られています。なお、「仁愛」の書は奨学生第一号として大変お世話になりました。

昨年9月に財団の異代表理事、池田校長先生と私の3名で神戸へ墓参に上がりました。お墓は、甲南大学北の高台にあり、加藤さんご自身の設計で、墓碑には信条とされていた「仁愛」と刻まれ、奥様とご一緒に眠られています。なお、「仁愛」の書は奨学生第一号として大変お世話になりました。

## 「仁愛」

小川 裕幸（昭和46年卒）

「仁愛」この言葉は、母校の大先輩であり、(公財) 加藤記念奨学会の初代理事長であった故加藤



利さんの墓碑に刻まれています。

加藤さんは、旧制本巣中学、第八高等学校、京都大学法学院を卒業され、川崎重工業（株）に就職され、副社長、相談役等ご活躍されました。ご自身も苦学された経験から「貧者の一灯」として、社会のお役に立てたら」と私財を手渡された。同窓会長は「生徒会企画型予算として、みんながびっくりする

ような斬新なアイデアを楽しみにしていい」と要望を伝え、生徒会長は「プレッシャーはあるけど、責任を持って取り組みたい」と応えた。具体的な案はまとまってないが、銀杏祭（文化祭）や卒業式での企画に使用することで話し合いを進めている。

昨年9月に財団の異代表理事、池田校長先生と私の3名で神戸へ墓参に上がりました。お墓は、甲南大学北の高台にあり、加藤さんご自身の設計で、墓碑には信条とされていた「仁愛」と刻まれ、奥様とご一緒に眠られています。なお、「仁愛」の書は奨学生第一号として大変お世話になりました。

昨年9月に財団の異代表理事、池田校長先生と私の3名で神戸へ墓参に上がりました。お墓は、甲南大学北の高台にあり、加藤さんご自身の設計で、墓碑には信条とされていた「仁愛」と刻まれ、奥様とご一緒に眠られています。なお、「仁愛」の書は奨学生第一号として大変お世話になりました。

## 頑張ってます 同窓生 vol. 10

奥長良川名水株式会社 代表取締役社長 中村 尚（平成 7 年卒）

尚（平成 7 年卒）



### 奥長良川名水株式会社

〒501-2801 岐阜県関市洞戸栗原291

TEL 0120-320-355

URL <https://waterdepartmentstore.com/>

## 北舎解体工事

南舎（新館）の完成に伴い、令和 5 年 5 月から北舎の解体工事が行われました。北舎は東側が昭和 35 年 5 月に創立 40 周年記念式典で理科家庭科棟の竣工が行われ、昭和 41 年 12 月に教室棟が完成しました。およそ 60 年にわたって使用された学び舎は役目を終え取り壊されました。跡地はアスファルト舗装され、今後は駐車場等として利用される予定です。

令和 6 年 2 月 29 日に、同窓会入会式が行われ、卒業生須永優さんを代表幹事とする令和 6 年卒業生 186 人が新たに同窓生に新会員として加入した。クラス代表には委嘱状を授与した。また、卒業記念品として各々の名前を刻んだ印鑑が新会員に贈呈された。これにより 1920 年の創立からの同窓生が合計 32,206 人となつた。

※新会員の皆さん「令和 6 年卒業生」です。

### 令和 6 年 3 月 卒業幹事（敬称略）

○は学年代表 ○は学年副代表

1組 門前 昇真  
2組 末次 未紅  
3組 江田 星空

4組 須永 崇翔  
5組 佐野 優  
6組 領柄

### 寄付金納入者ご芳名

令和 5 年 2 月から令和 6 年 2 月まで

（1 口 1,000 円 敬称略）

\*ありがとうございます\*

岩崎 小原 清華  
高山 友章  
杉山 昭彦  
白井 達哉  
長屋由喜子  
昭和 43 年卒 1・2 組  
若原忠義氏ご遺族

10 口  
8 口  
8 口  
8 口  
10 口  
100 万円

## 同窓会功労者

同窓会活動に尽力された方に感謝状を贈呈しました。

遠山 信義 前副会長（現常任理事）  
青木 松男 前監事（役員退任）  
棚橋 敏明 前常任理事（役員退任）

中村氏は本巣市真正の出身で、真正中学校を経て本巣高校に入学した。入学後最初の数学の授業で、故・鳥本正喜先生が「サイン・コサイン・タンジェント」といきなり授業を始め、初歩から勉強に付いてけなかつたことが印象的だったと振り返る。文武両道が校訓の高校だったが、文武の両方ともが中途半端になってしまった苦い思い出があるといつ。かと言つて遊んだり成 23 年に起きた東日本大震災を機に、父である中村隆春（昭 41 年卒）氏が代表を務めていた奥長良川名水へ入社し、関東地方での業務拡張の担当などを経て、現在に至る。

奥長良川名水（株）は平成 11（1999）年 1 月 12 日に創業して、今年で 26 年目。中村氏は 3 代目として会社の舵取り役を担うているが、同社は日本全国約 180 社のプライベートブランド水を製造している。「安心安全で本当に美味しいと思ってもらえる水を作っています。どこかで見かけましたら、ぜひ飲んでください」と自信をもつて語る。モンドセレクションでの最高金賞や、iTunes の優秀味覚賞 3 星を永年受賞してきた実績は、中村社長率いる同社の努力の成果であろう。

今後について聞くと、受け継いできた会社の発展に注力したいといふ。「小さな会社ですが、従業員がいて、さらにその家族がいることの責任と重みを感じています。家族の幸せも大事にしたいという。併せて、自身の健康にも気を遣いたいと語る。その理由は、「すべては自分にかかると思っていると思うから」だ。

「努力」と「根性」という言葉が大好きな中村氏。「最近はこのような言葉を使ふと『ラググだ』とか『考えが古い』とかと言われますが、決めた目標に向けて諦めず、一生懸命努力できる人になりたいと思っています。目標を達成した喜びは、ハードルが高ければ高いほど多く受けられると思います」と語るとともに、「ぜひ目指す目標を若いうちにしっかりと定めて、準備して進んで行かれると良いと思います」と、幾多の苦難を乗り越えてきた先輩は後輩たちにアドバイスをくれた。

西尾 侑一（平 16 年卒）



破損部分(左上)と破片



### 時計塔に落雷！

令和 5 年 7 月 27 日午後 4 時 55 分頃、本館に設置されている時計塔に雷が落ちた。

この時計塔は昭和 43 年、44 年、45 年の同窓生 1,326 人の卒業記念品である。被害は、落雷箇所である時計塔の左上部分の一部故障であった。幸いにして人的被害はなかった。

## 編集後記

コロナウイルス感染症が収束に向かい、息苦しい毎日から解放されつつあります。同窓会活動も、総会の実施や銀杏祭（文化祭）への参加等、元の行事や活動を戻すのに尽力した 1 年となりました。今後とも、同窓会活動にこれまでどおり会員皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

### よつこそ、新会員のみなさん！